



# 生涯学習センターだより

2019. 4. 26 (金) 4月号 (2019年度第1号: 通巻24号) 発行: 秋田県生涯学習センター

## 目覚めの季節

所長 鈴木 修一



新元号が発表され、「令和」の名が万葉集梅花の宴の和歌に由来することから、万葉集の鑑賞や、ゆかりの地太宰府への旅行など、静かなブームが起こっているようです。この春、梅の花を意識して過ごしていたところ、通勤の道すがら、朝風が運ぶ梅の香りの挨拶に、新鮮な感動を覚えました。

当センターに赴任が決まった折り、かつて「豊かさへの旅」と題したセンター報の表紙を飾るカラー写真に合わせ、「春の魔法」という詩を寄稿し、掲載されたことを思い出しました。四半世紀も前のことです。

眠っている赤ん坊のこぶしをこじ開けてはいけない  
握りしめた宝物が消え失せてしまうから  
(中略)  
やがて 開かれた赤ん坊のてのひらに  
僕は見つけるだろう

いつものちっちゃな糸くずを  
そして 見上げる瞳が青いのは  
ああ 本当に帰ってきた  
空の青さを映しているからと  
小鳥たちが 鈴を鳴らして告げてゆくだろう

忙しい子育ての中に訪れる穏やかな至福の時間……。眠る子の目覚めは、やがてそこへと歩み出す新たな世界の誕生をも予告しているようです。そして、「学ぶ」ということもまた、その人が新たな可能性に目覚め、進むほどに喜びで満たされてゆくすばらしい営為であると思います。

当センターでは、今年も皆様のニーズや様々な課題解決に向けて内容を精選し、総合的な生涯学習講座「あきたスマートカレッジ」を開講します。二つほど例を示すと、「行動人講座」ユースコース（高校生対象）ではユースパルと連携し、課題解決のための思考（デザイン思考）を学びます。「特別企画講座」では、教育・福祉共通の課題「障害者の生涯学習」について、「障害者スポーツ」を通じて考え、障害者理解を深めます。そのほかにも多岐にわたり、魅力あふれる講座が満載です。

時は輝く春。学びへと志を立てるにふさわしい季節を迎えました。新しい世界の扉を開いてみませんか。



## 5月・6月の講座・研修開催予定

会場：秋田県生涯学習センター

(5月のみ)

<有料講座の受講料は1回420円です>

### ●行動人講座

【基礎コース】生涯学習のススメ(無料)

[10:00 ~ 11:30]

6月 5日(水) ○スマカレイ・ろ・は～受講の仕方から生涯学習の基礎知識まで～

6月 12日(水) ○にかほ市生涯学習奨励員活動を通じて得た宝

○中通地区高齢者学級への思い

6月 19日(水) ○稲穂が輝く故郷で

黄金の歌声を

【ユースコース】高校生対象「思考力向上キャンプ」

5月 17日(金)～18日(土)

[会場:秋田県青少年交流センター]

### ●あきたふるさと講座

【あきた温故知新】(有料)

[10:00 ~ 11:30]

5月 11日(土) ○地域を歩いて新旧の重なりを知る～地域学の楽しみ方初歩～

6月 1日(土) ○木のおもちゃ美術館の挑戦～地域資源を活用した産業等の活性化～

### ■生涯学習・社会教育関係者研修

[10:00 ~ 16:00]

5月 16日(木) 新任職員研修

### ●あきたふるさと講座

【地域の魅力発信～おらほの地域自慢～】(有料)

[10:00 ~ 16:00]

6月 7日(金) ○人と自然と由利本荘市-移動学習-おもちゃ列車でGO! ※2回セット受講

[会場:鳥海山おもちゃ美術館  
石油資源開発(株)秋田事業所由利原鉱場]

【県民読書おすすめ講座～比較文化～】(有料)

[13:30 ~ 15:00]

5月 11日(土) ○李香蘭と満州映画～中国人女優になった日本人～

6月 15日(土) ○横光利一『上海』～国際都市の表象～

6月 29日(土) ○シェイクスピアと黒澤明～『マクベス』とその翻案『蜘蛛巣城』を中心に～

### ●官・民・学連携講座

【あきたチャレンジゼミ】(無料)

[13:00 ~ 16:00]

6月 26日(水) ○アートで楽しむ動物園-現地学習-[会場:秋田市大森山動物園ミルヴェ] ※2回セット受講

### ■家庭教育支援チーム・リーダー養成講座①

[10:00 ~ 15:00]

5月 29日(水) 家庭教育支援の優れた活動事例を知ろう

# ご案内

来る5月25日(土)の午後1時から、今年度の「あきたスマートカレッジ総合開講式」を開催します。

引き続き行われる記念講演は、秋田出身の気象に関するスペシャリスト3名による鼎談です。「お天気お兄さんたちの井戸端会議」に乞うご期待!

前号(裏面)に掲載しました「連携・協働による地域活性化事例に関する調査研究～多様な連携・協働事例から見る社会教育行政の役割と可能性に関する考察～」(概要版)の1ページ目(前半)に続いて、本号では2ページ目(後半)を掲載します。前号と合わせてご覧ください。社会教育関係者必見です!

## 4 市町村が企業等と取り組む必要があると考えているテーマに「家庭教育」が

### 挙がってきた

●市町村は多くのテーマで企業や民間団体等と取り組む必要があると考えている。

・「大いに必要である」「必要である」の合計が多い主な項目

「家庭教育」・・・80%

「学校以外での教育支援」・・・80%

「文化」・・・80%

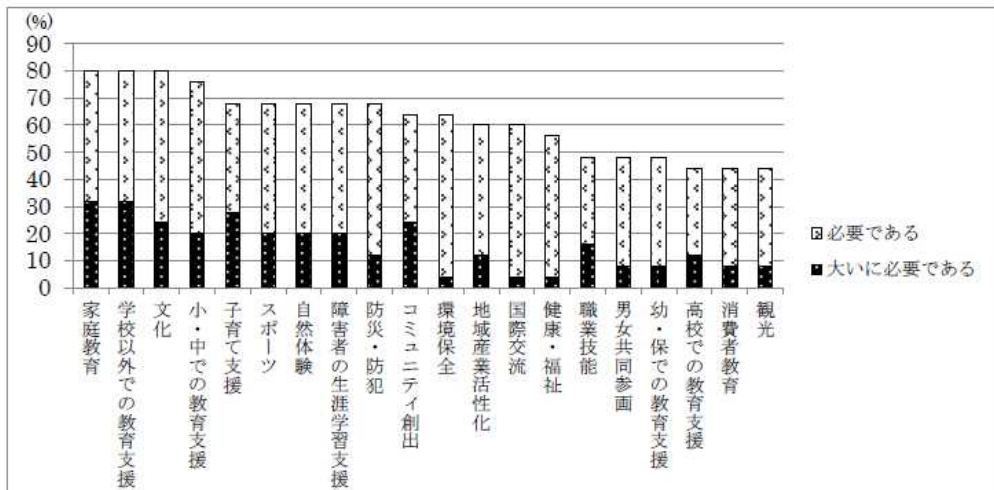
●観光や消費者教育など首長部局で取り組んでいるものに対しては必要感が低めの傾向にある。

・「大いに必要である」「必要である」の合計が50%以下の主な項目

「消費者教育」・・・44%

「観光」・・・44%

「男女共同参画」・・・48%



Q企業や民間団体等と連携・協働で取り組む必要があると考えるテーマは何ですか。

## 5 連携・協働の課題は「情報不足」「人員不足」

●必要性は感じながらもどことつながればよいか分からない市町村が多い。

・これから連携・協働したい企業や民間団体等がある・・・20%

●課題や困難を記述した12市町村の半分以上が、「情報不足」「人員不足」を指摘している。

・目的を共有する企業や民間団体等を知らない、見つからない等・・・6市町村

・人員不足・・・6市町村

・費用や役割分担・・・3市町村

・企業選定の公平性の確保・・・2市町村

## 6 連携・協働へのカギは「相互理解」

●事業を実施している企業等や行政の担当者が大切にしていることについて聞き取り調査を実施した。

・「日頃からのネットワークづくりが大切」「お互い共通するメリットを見い出す」「話すことで信頼関係が生まれてくる」「互いの長所を生かし、短所を補う」など、『相互理解』を大切にしている事業担当者が多かった。

★調査研究の詳細は秋田県生涯学習センターHPをご覧ください!

秋田県生涯学習センター 〒010-0955 秋田県秋田市山王中島町1-1

☎018-865-1171 FAX018-824-1799

<https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/> E-mail sgcen002@mail2.pref.akita.jp

